

2006年6月号

ほくし

発行所

社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号

プールパール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

平成十七年度
第二回総会(通常)

H18.3.24



平成十八年三月二十四日(金)午後七時より北区民センターに於いて、北区歯科医師会平成十七年度第二回総会(通常)が開催された。多田議長、矢迫副議長が着席し、定刻に多田議長により開会が宣言された。賀本理事より点呼の結果発表があり、現会員数二〇四名、定足数一〇三名、出席者三十九名、書面評決七十五名、委任状提出十九名、

合計一三三名での会の成立が報告された。中谷副会長による開会のことばの後、多田議長より議事録署名名人に、六班渡辺・十一班清光両会員が指名された。黒川会長が挨拶に立ち、歯科保険点数の改定により歯科医療界はより厳しい時代を迎えているが、昨年の診療報酬改定反対の署名運動への会員の協力に感謝の意を表し、また、本年一月より運

用を開始した大阪北区歯科医師会ホームページの維持管理を行う新しい委員会を立ち上げたいと述べた。

次に来賓の挨拶に移り、

天羽府歯理事が、北区支部の診療報酬改定反対署名運動の獲得率が府下第二位であったことと、夜間緊急診療に一万人以上の来院があり、会員協力に感謝を述べた。報告事項で、会務中間

報告が大塚専務理事よりなされ、また物故者及び物故者家族への弔慰黙祷が行われた。野口理事より福祉共済制度会務中間報告、三輪理事より会計中間報告、野口理事より福祉会計中間報告が報告された。続いてIT化実行委員会の報告を西川委員長が、府歯代議員会報告を石崎代議員が行なった。その後、大塚専務理事より本年度新入会員が披露され、大西・孝橋・坂口各先生より一言の挨拶があつた。



た。



議事に移り、第一号議案平成十八年度事業計画と第二号議案平成十八年度一般会計収支予算が一括上程され、出席者全員の挙手により賛成可決され、第三号議案平成十八年度特別会計収支予算の提案理由説明と採決があり、全員の挙手賛成により可決成立した。

東郷副会長から閉会のことばがあり、スムーズなる議案承認へのお礼とともに、これからも黒川会長を中心に結束していきたいと述べた。ついで多田議長の閉会宣言により総会が終了した。

引き続き国保組合総会が開催され、清光大阪府歯科医師会国保組合北区支部長により組合会費の改定についての説明が行われた。続く連盟総会では、戎大阪府歯科医師連盟北区支部長により日本歯科医師連盟会長の交代が報告された。

パノラマ

内科学会総会で発表された日本独自のメタボリックシンドロームの定義と診断基準は、内臓脂肪の蓄積が必須条件と位置づけられ、男性でウエスト85cm以上、女性90cm以上を基準としています。その上で他の3つの項目●高グリセド血症150mg/dl以上または、低HDLコレステロール血症40mg/dl以下●収縮期血圧130mmHg以上または、拡張期血圧85mmHg以上●空腹時高血糖110mg/dlのうち2つ以上を満たしている場合である。このメタボリックシンドロームに加え近年循環器疾患と歯周疾患の関連を示す研究が報告されている。歯周病患者は、歯周病をわずかに持つ、あるいは歯周病でない患者と比べ五十歳未満の男性では1.72の相対リスクで冠状動脈性心臓病の発生率に強く影響していたとする報告や、重度の歯周病患者は、健康な歯周組織を持つ人に比べ4.3倍脳卒中の危険因子を持つなど、歯周疾患と全身疾患の関連性を示す疫学的調査報告がなされている。今後ますます医科と歯科の連携による全身の管理が重要となってくるであろう。あなたのウエストは何cmですか? (H)

平成十八年度 第一回総会(通常)

H18.5.30

平成十八年五月三十日(火)
標記総会が新阪急ビル十二階貸会議室に於いて、開催され、多田議長の開会宣言の後、賀本理事が点呼を行い、出席者数四十九名、書面表決者数六十九名、委任状提出者十三名、合計一三一名となり本総会の成立が報告された。

中谷副会長による開会のことばの後、議事録署名名人に、十五班の井上敏治先生と八班の橋本博章先生が指名された。

続いて黒川会長が挨拶に立ち、新執行部の本日に至るまでの会員の協力に対するお礼を述べると共に、上程している平成十七年度一般会計収支決算など、二議案のスムーズな可決を願った。次いで、神馬府歯常務理事が来賓挨拶で、今回の診療報酬改定で会員が混乱をきたしているが、本会は電算化対策プロジェクトチームを結成し、対応策を検討していることなどの報告と共に、岡会長の感謝の言葉を代弁された。その後、報告事項として大塚専務理事が平成十七年度会務報告

を行い、野口理事から平成十七年度福祉共済制度会務報告を行った。委員会報告では、ホームページ管理委員会報告を西川委員長がパソコン教室開催の件、会員へのお知らせメール導入の件、HP会員ページのIDとパスワードについて報告し、メール送信をお願いした。



その後、大塚専務理事から総会に出席された新入会員の九班の中川浩一先生、十五班の行岡病院の岩脇康人先生の紹介が行われた。議事に移り、第一号議案平成十七年度一般会計収支決算、第二号議案 平成平成十七年度特別会計収支決算の提案理由の説明を三輪理事、野口理事がそれぞれ

行った。その後、横野監事から監査報告があり、各議案とも、満場一致で可決承認された。最後に東郷副会長の閉会のことば、多田議長の閉会宣言で通常総会は無事終了した。

引き続き大阪府歯科医師連盟北区北支部の総会があり、戎支部長が報告を行った。続いて大阪府歯科医師国保組合北区北支部の総会があり、清光支部長が報告を行った。(専務理事・大塚俊裕)

学術部企画

白歯部中間歯欠損に対するアフローチ
フリッジがインプラントか、自家歯牙移植か

H18
2.7

平成十八年二月七日(火)
北区民センターにて午後七時より、学術部の新企画として同一テーマを複数の会員でディスカッションする場を設けました。座長を九班の宮内修平先生にお任せし、パネラーとして浦野・福西・南各先生に発表していただきました。参加者は七十二名でした。

二班・浦野 智

無菌顎患者に対する欠損補綴のオプションとして臨床応用されはじめたインプラント治療も、現在では予知性の高い処置として広く認知されるようになった。これに伴い、日常臨床において部分欠損症例に対して

税務申告説明会開催

H18
2.3

平成十八年二月三日(金)
午後六時より「ガーデンシテイククラブ大阪」において税務申告説明会が開催されました。

黒川会長開会の挨拶に次いで、北税務署の輪島副署長の挨拶の後、個人課税中川第一統括官により、一、確定申告書の作成に当たっての留意事項について、二、確定申告に当たり誤りの多

い事項について、三、課税事業者となる方の為の「消費税」について詳しく説明がなされました。特に、三、については課税売上高で判定され、その判定方法を詳細に説明して頂きました。質疑応答の後、東郷副会長の挨拶で閉会しました。参加者は二十九名でした。(医療管理・三浦幹雄)

インプラント治療を行う機会も増え、欠損補綴処置の第一選択とまで言われるようになった。このような部分欠損症例に対するインプラント治療の目標は、同一歯列内で歯牙とインプラントを長期にわたり共存させていくことである。

部分欠損症例に対してインプラント治療を行う上で、インプラントおよび残存する歯牙に対する考え方を歯周治療の観点から臨床例を通して考察した。

十二班・福西一浩

保存不可能と診断された歯牙を抜歯した後、その欠損を補い、機能回復を図る

目的で自家歯牙移植が保存的治療として極めて有効なことがある。とくに第二、および第二大臼歯が抜歯となり、移植歯としての条件を満たす適切な智歯が存在する場合では、他の治療に先んじて自家歯牙移植を選択したいと考えている。自家歯牙移植は、現在において、良好な長期経過症例が数多く報告され、欠損歯列への対応として、可撤性義歯、固定性ブリッジ、およびインプラントなどの治療法と同等の選択肢のひとつとしての地位を獲得したといえる。今回の講演では、ブリッジやインプラントの前に自家歯牙移植を選択することが適切であると思われる長期経過症例を提示すること、その正当性と予知性について検討を加えた。

三班・南 昌宏
(補綴学的見地から)

白歯一歯欠損は日常診療においてよく見られる欠損形態であり、ブリッジで対応することが一般的であろうと思われる。しかし処置後数年経過し、壊滅的なダメージを受けているブリッジもよく見受けられるところである。ブリッジを成功させるための要件として一、適応症の鑑別 二、構造力学的考察 三、治療精度が挙げられる。一、については歯の位置、歯冠長、支台歯の質と量、動揺度(歯冠歯根比、歯根の形態(分岐部の状態も含む)、歯周環境、開口度、などを考慮し、これらの条件が良好でないと判断した場合はブリッジよりもたとえばインプラントなどを検討する必要がある。二、についてはブリッジにかかる力に効率的に抵抗できるように、梁の法則に則ったメタルフレームの設計を考慮する。三、については的確な手技(形成、印象、咬合調整、合着)を身につけることが重要であろう。補綴の立場からは当たり前のことではあるが基本に則った診断手技が白歯ブリッジ成功の鍵であるといえよう。(学術部・宮崎哲)

医療保険講習会

ー電子化加算届出取り消し希望者続出ー

H18
5.30

去る五月三十日(火)総会終了後に新阪急ビル十二階貸会議室において、府歯医療保険担当理事の牧野利彦先生をお迎えし、今年四月に大幅に改定された診療報酬について講習会が開催されました。参加者は二五〇名でした。

冒頭に黒川会長が挨拶に立ち、「今回の改定率は三・一六%のマイナス改定と言われていたが、実態は一割以上の減であるように思われる。本日の講習で改定内容を充分理解して、明日からの診療に役立てて戴きたい。」と述べた。

講習内容抜粋
・かかりつけ歯科医初再診料廃止に伴う関連項目の廃止

電子化加算の新設

・診療情報提供料の体系の簡素化及びセカンド・オピニオンの推進

・歯科診療における患者の視点の重視(指導管理等における患者への文書による情報提供)

・歯周疾患の評価の見直し
・適応症処置内容の明確化
・歯科治療における重要な治療項目の再評価(歯周基本治療、根管治療、歯冠形成等)

・歯冠修復及び欠損補綴の評価の見直し(補綴時診断料及び補綴物維持管理料の見直し)

・義歯の調整指導料の評価の見直し
・医療費の内容の分かる領

医療管理講演会「美と癒し」

H18
3.7

平成十八年三月七日(火)

午後七時より新阪急ビル十二階貸会議室において医療管理講演会が開催されました。三浦理事の司会のもと黒川会長挨拶で始まり、西上聡美講師による素肌美を維持する方法と人に与える印象と癒しの空間の説明がありました。

その後、黒川会長をモデルとして美顔ローラーの実演、モデルの田中みゆきさんによるメイクアップ、足のむくみの取り方の実演、質疑応答の後、東郷副会長の挨拶で閉会しました。参加者は六十名でした。

(医療管理・三浦幹雄)

北歯ゴルフ同好会春季コンペ

H18
4.16

収書の交付の義務付け以上の内容を分かりやすくご指導戴きました。特に強調されたものとしては、「文書による情報提供の点で日歯より発行されている情報提供用紙より府歯で従来から販売されているP総診、G総診等の用紙の方が簡単で便利である。また、電子化加算はオンライン化に繋がり個人情報情報の漏洩の危険性がある。」といった内容でありました。

最後に中谷副会長が閉会の挨拶をされ、会場の使用許可のする境界の九時過ぎまでの約二時間の充実した講習会は終了しました。

(医療保険部)

四月十六日(日)北歯ゴルフ同好会の春のコンペが行われました。佐々木裕先生のお世話で、よみうりC(本コース)において桜満開の中でのプレーとなりました。十八名のゴルフ好きが集合し、OUTコースよりスタートしました。その中で、いつも安定したゴルフを見せる矢追秀純先生が見事に優勝、準優勝には初参加の天羽歯科の勤務医の別所先生、三位はいつもの優勝を虎視眈々と狙っている田中先生という結果となりました。次回は、十一月



三日(金・文化の日)に伏尾GCで開催する予定です。多数の先生方のご参加をお待ちしております。

(ゴルフ同好会・大塚俊裕)

新入会員

9班・中川浩一

(大阪大昭和56年卒)



(診) 太融寺町五十一三

東梅田パークビル七F

電 六三二二八八八一

F 六三二二八七四一

(自) 万歳町三三五

電 六三一三三四五四

F 六三一三二五一八

(趣味) 写真・テニス

11班・孝橋 巖

(大阪大昭和60年卒)



(診) 梅田一十一一四

大阪駅前第四ビルF

電 六四五七一一八八

F 六三三一一六四八〇

(自) 大阪市東住吉区住道

矢田四一五十四

電 六七〇三二五四四〇

F 六七〇六一三六二二

(趣味) 車・ペットの飼育

みおつくしの会

H18
3.25



いまにも桜が満開になり
そうな晴天に恵まれた三月
二十五日(土)。みおつく
しの会が、リッツカールト
ン大阪にて、十一名のご長
寿の先生方にご出席を頂き、
開催されました。
野口理事司会のもと、黒川
会長の挨拶に続き、青山敏男
先生の「なごやかな会になり
ますように」との乾杯のご発
声で祝宴が始まりました。
八十歳を迎えられた阪本
義樹先生に記念の品を贈呈
し、各先生方のご近況を楽
しく伺うことができました。



高麗副会長による閉会の辞
のあと、記念撮影を行い、
無事に閉宴となりました。
ご出席の方々、誠にあり
がとうございました。ご出
席の先生方は高垣雄二郎先
生、青山敏男先生、前田勝
先生、澤英一先生、大内弘
先生、阪本義樹先生、大塚
禮三先生、中西國夫先生、
竹花一先生、芦澤孝先生、
樋口忠彦先生でした。(出
席役員・黒川会長、高麗副
会長、大塚専務、高畑理事、
野口理事、森川部員、國田
部員)(福祉Ⅱ部・森川裕)



黒川会長、理事の先生方
ご協力本当にありがとうございました。

編集後記

(診) 浮田二一 二二三
行岡病院歯科口腔外科
電 六三七一一九九二一
F 六三七一一四一九九
(自) 守口市寺内町二一七
一 二九一四〇一
電 〇九〇一三三八六四三六〇
(趣味) 音楽鑑賞・トレッキング



15班・岩脇康人
(大藁大・平成13年卒)

(診) 梅田二一 四一三六
上島ビル三F
電 六三三三三八四五一
F 六三三三三八四四一
(自) 神戸市垂水区星陵台
五一一二
電 〇七八七八一一一六七二
F 〇七八七八五一一三三五
(趣味) 旅行・ゴルフ



12班・坂口喜史夫
(大藁大・昭和32年卒)

(3面より続く)